

いちごいちえ 会とちぎ国体

～2022年、栃木県で国体が開催されます～

くわしくは 国体推進課 ☎25-6900



前回に引き続き、日光市で開催される競技を紹介します。



～競技を知ろう♪～

スケート
(ショートトラック)

《競技紹介》

数人の選手が同時にスタートし、1周111.12mの楕円状^{だえん}のトラックを使用し順位を競い合います。エリミネーション方式(各レースの1位と2位が予選、準々決勝、準決勝、決勝と勝ち抜いていく方式)で競技が行われます。

《見どころ》

集団で滑走するため、目まぐるしく順位が入れ替わり、コースの奪い合いで選手同士が接触することもある、とてもスリリングな競技です。また、どのタイミングで仕掛けて前に出るかなどの駆け引きが重要なポイントとなります。

《競技紹介》

国体のフィギュアスケート競技は、少年・成年男女の4種類があります。種別ごとに各都道府県代表2名の合計点で競う団体戦で行われます。

競技方法は、規定された要素(ジャンプ、スピンなど)から構成されたショートプログラム(SP)を行い、上位24名がさらに規定の要素を自由に組み合わせたフリースケーティングを行います。

《見どころ》

氷上での滑走による優雅さや疾走感、その中で繰り出されるパワーあふれるジャンプや美しいスピンからは目が離せません。また、選手が音楽を全身で表現する演技は芸術的で、観衆を大いに沸かせます。

スケート
(フィギュア)

アイスホッケー



《競技紹介》

1試合を第1～3ピリオドに分け、ピリオド間にインターバルを挟み試合を行います。国体では、1チーム16名で、氷上で同時にプレーできる人数はゴールテンダー(ゴールキーパー)を含めて6名です。

《見どころ》

アイスホッケーは、「氷上の格闘技」と呼ばれるように、身体を張った激しいプレーが繰り広げられる、迫力のある試合が大きな魅力です。また、試合を中断することなく、いつでも選手の交代ができるため、交代の人数やタイミングなど、選手の身体能力やスキルなどを、最大限に引き出すための監督の采配も見どころの1つです。